

診療群分類包括評価で手術された患者さんの 情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター薬剤部では、「ベンゾジアゼピン系睡眠薬又はオレキシン系睡眠薬を入院時に導入した患者における使用動向の実態調査」を行うことになりました。

この研究の目的は、入院後から睡眠薬を開始した患者さんの退院時処方に含まれるベンゾジアゼピン系睡眠薬又はオレキシン系睡眠薬を調べて、睡眠薬がどのような影響を及ぼしているかを明らかにすることです。

この研究のため、「2018年5月1日より2019年12月31日」、「2021年5月1日より2023年12月31日」の2期間において治療した方の診療録・処方内容等の調査を行います。対象は当院で手術治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（年齢、性別、体重、DPCの名称、入院期間、投与薬剤の定期および臨時内服処方日数、投与薬剤の頓用処方使用回数、投与薬剤の退院時処方の有無と処方区分（投与薬剤の定期内服か頓用か等）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2024年6月

研究責任者 東京医療センター薬剤部

古川 真央

連絡先 03-3411-0111(代表)